

3 ベクトルの成分

[A] ベクトルの成分表示

座標平面上のベクトルについて, x 軸, y 軸上の正の向き単位ベクトルを, それぞれ

$$\overrightarrow{OE} = \vec{e}_1, \quad \overrightarrow{OF} = \vec{e}_2$$

とすると, この平面上の任意のベクトル \vec{a} は

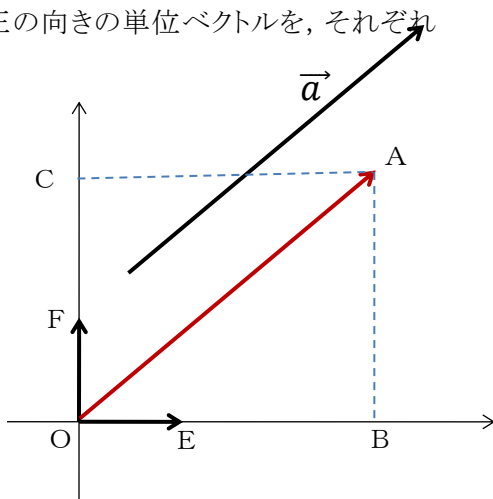
$$\vec{a} = a_1 \vec{e}_1 + a_2 \vec{e}_2 \quad \dots\dots ①$$

の形に表すことができる。

(証明)

\vec{a} の始点を原点 O になるように移動する。

終点を A とし, 点 A の座標を (a_1, a_2) とする。



このとき, $\overrightarrow{OB} = a_1 \vec{e}_1$ 、 $\overrightarrow{BA} = \overrightarrow{OC} = a_2 \vec{e}_2$ であり、

$$\vec{a} = \overrightarrow{OA} = \overrightarrow{OB} + \overrightarrow{BA} = a_1 \vec{e}_1 + a_2 \vec{e}_2$$

※ \vec{e}_1, \vec{e}_2 を基本ベクトルといい、①を基本ベクトル表示という。

①における a_1, a_2 をそれぞれ, \vec{a} の x 成分, y 成分といい、まとめて \vec{a} の成分という。

\vec{a} は, その成分 a_1, a_2 によって定まるので、

$$\vec{a} = (a_1, a_2) \quad \dots\dots ②$$

とかき, これをベクトルの成分表示という。

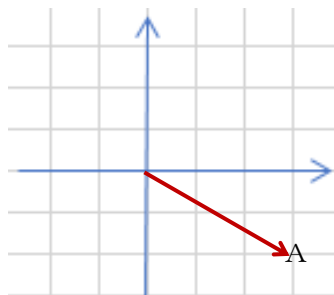
即ち, 平面上の任意のベクトル \vec{a} は, 次のように表すことができる。

$\vec{a} = a_1 \vec{e}_1 + a_2 \vec{e}_2$	基本ベクトル表示
$= (a_1, a_2)$	成分表示

〈例15〉 基本ベクトル \vec{e}_1 , \vec{e}_2 を成分で表すと,

$$\vec{e}_1 = (1, 0) \quad , \quad \vec{e}_2 = (0, 1)$$

〈例16〉点A(3, -2)のとき, $\vec{OA} = (3, -2)$



2つのベクトル $\vec{a} = (a_1, a_2)$ 、 $\vec{b} = (b_1, b_2)$ があるとき、次のことが成り立つ。

$$\vec{a} = \vec{b} \iff a_1 = b_1, a_2 = b_2$$

ベクトルの大きさは、成分を使って表すと、次のようになる。

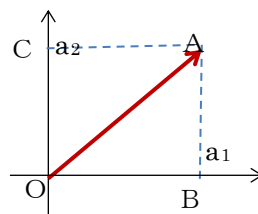
$$\vec{a} = (a_1, a_2) \text{ のとき, } |\vec{a}| = \sqrt{a_1^2 + a_2^2}$$

(証明)

$\vec{a} = \vec{OA}$ とおく。三平方の定理から、

$$OA^2 = OB^2 + BA^2 = a_1^2 + a_2^2 \text{ より, } OA = \sqrt{a_1^2 + a_2^2}$$

$$\text{ここで, } OA = |\vec{OA}| = |\vec{a}| = \sqrt{a_1^2 + a_2^2}$$



〈例17〉 次のベクトルをかき、大きさを求めよ。

(1) $\vec{a} = (3, 4)$

$$|\vec{a}| = \sqrt{3^2 + 4^2} = \sqrt{9 + 16} = \sqrt{25} = 5$$

(2) $\vec{b} = (-2, 3)$

$$|\vec{b}| = \sqrt{(-2)^2 + 3^2} = \sqrt{4 + 9} = \sqrt{13}$$

(3) $\vec{c} = (-3, -1)$

$$|\vec{c}| = \sqrt{(-3)^2 + (-1)^2} = \sqrt{9 + 1} = \sqrt{10}$$

